七日夕刊
磐城每日新聞

□本紙一ヶ月　金六十錢
□郵税　金十五錢
□一部賣　金三錢
□廣告料一行　金六十錢
□雜報欄　金九十錢
□場所指定一行　金一圓增
□電話（平）　七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所　磐城每日新聞社
發行編輯印刷人　森合英

もし机上案や理窟ばかりで實現の見込がない事ならば始めから聲明を出したりして大げさに天下を騒がさぬ方が好い　（平生鐵三郎）

閼伽井嵐

エハガキの御詫び

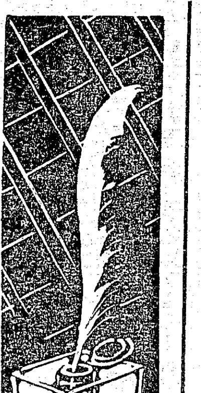
マルトモ店主

◇マルトモに平市内のエハガキがなかつたので失望されたと言ふお話を承つて全く恐縮しました平市のエハガキは公園下の佐々木書店さんが二、三十年來手がけて居られるので私共が分賣させて頂いて居るのですが生憎店頭に切らして居つたので大變お不便をかけて申譯ありません　然し之も相當舊版になつて居るので佐々木さんとお會ひする毎に何とかせねばなりませんねとお話丈はして居る様な始末です

◇郷土エハガキは佐々木さんの外に先年私共も平市及其附近として二十葉ばかり製作し又いづみや玩具屋さんが七夕祭を發行し齊藤利彦さんが年賀用として三色刷のものを製つた事もあり古くは私共も土地の郷土研究會の方々と協力して近郷に在る國寶をエハガキに撮つて發行した事もありました、又市役所が數十葉を製作し市の土產品として現に各方面に進呈して居るのは皆さん御承知の通りであります。

◇何しろ土地のエハガキは製作費の割合に數量が捌けないので新版を起す事は誰もこの足をふむのです、若しこの際新規に計畫するのならお說の様に寫友會の方々にでもお計して縣賞ででも募集し之を市役所始め業者全部で協力して處分すると言ふ様な仕込みでないと却々うまく行かぬのではないかと思ひます。幸ひ文化協會の内部でそのお考があると言ふので私共も本當に助かります、一日も早く實現を望む次第であります。

他山の石



一週二度木曜日の本欄に「紹介」欄を設けて御寄贈の印刷物類を御紹介したいと存じます。各學校役所等で出してゐる種々の印刷物をお送り下されば御紹介します。さうすることに依つて少しでもお互の連絡がとれ、刺戟されて各自のお仕事なり研究なりのお手傳ができればしあはせと存じます。それも廣い意味の文化運動と思ひます。目下手元に來てゐるのが次のやうなものだけですが、もつと種々なものがあるだらうと存じます。奮つてお送り下さい。

「漢詩」第二十七號

菊版五十八頁の雜誌で、その名の示す通り漢詩を集めたものである、會員組織で特別會員四十錢で每月三首普通會員三十錢で每月二首漢詩を添削して貰へる。發行所は桑名市馬町雅聲社、時局下にふさはしからぬ高踏的な雜誌のやうに思ふ人もあらうが「繁霜漸向びん邊生。老大尙存髀肉情。征戰三年

木下雁次

猶未已。寶刀空在匣中鳴」なんていふ詩を見ると心は俗界を去つて天外に飛ぶの思がする。

「光泉林の生活」

先般本紙に掲載したものを作者の鈴木文雄君が謄寫版印刷にして表紙をつけて配布したもので十八頁はしがきや編輯後記に鈴木君の人となりがあらはれてゐておくゆかしい。好い試みである

「野薊」第一號

佐分利晃氏編輯、謄寫版刷二十二頁の俳句雜誌、會費一ケ月二十錢、發行所は平市仲町二番地野薊會野薊を配した表紙も氣がきいてゐるし全体の編輯がなかなか好く出來てゐる、三號雜誌にならないやうに健全な發達を希望する、俳句は追つて本紙に轉載する豫定です。

春雨物語（五）

大森勇

婦人の龜鑑

今宮たま先生

私はこれでも若い頃平の青年團の團長をした事がある。當時の副團長は柴田德二君で庶務幹事は今磐女に勤めて居られる大内君、會計幹事は第一小學校の先生であつた今宮寬太郎君であつた。今宮君は奧樣のたま先生と二人一所に第一小學校に敎鞭を取られたのである。今宮君は余りに正直だつたので、酒に騙られて失敗が重つた。色々の事が耳に入つたので、柴田君と相談の上私にも來てもらつた段々聞く程に今宮君の借財は相當なものである事がわかつた。一年食はないで支拂つても支拂切れぬ程の借財を作つて如何する積りかと云へば、如何なるのか自分にもわからないと云ふ。この借財の整理を柴田君と私に任せないかと云へば、如何な命令にでも從ふから整理して貰ひ度いと云ふ。そこで柴田君が整理案を作つた。今宮君二人の最低限度の生活を保証するから、二人の月給は袋のまゝ每月持つて來ること。料理屋その他の支拂は柴田君の努力に依て半分位にまけて貰ふこと。それから每月月給日に月給袋を懷にした今宮たま先生の淋しい姿を私の玄關に見出すのであつた。月給袋をそのまゝ私に預つて、交換に何枚かの十圓札を受け取つて歸るたま先生の淋しい後姿を眺めて、私は親切なのだらうか殘忍なのだらうかと、涙乍らに考へさせられた事もあつた。寬太郎先生は酒を止めた事にはなつてたが、學校で御祝事があつて酒盛りが始まると、一盃一盃また一盃兩人對酌山花開く様になる事もあつたが、そんな時には盃を手にする度にたま先生が側に寄り添うて意志薄弱意志薄弱とたしなめるのであつた。また寬太郎先生が騙されて何處に行つてるのかわからぬ事もあつた。すると私の妻はたま先生の事が心配でたまらず、六間門の御宅に行つて、障子の隙間からそつと窺いて、薄暗い電燈の下で編物をしてるのを見て安心して歸つて來た事などもあつた。斯くして整理は今一歩といふ處迄漕ぎつけたが、寬太郎先生もたま先生も會津の山の中の小學校に左遷させられた。私は憤慨して郡視學に食つてかゝつたが何とも仕方がなかつた。會津に行つてからも每月滯りなくいくらか宛送金して吳れた。それからも何年も〳〵、惠まれざる歲月のみが續き通したのだが、最後に寬太郎先生が病の床に就く様になつた。たま先生は看病する爲に學校も止めなければなかつた。その頃私の妻に宛た書面の一節に『强いやうでも女、この人のため苦しみ通した私でも可愛いゝ子供のためには父親ですもの、今又病苦にゐるこの姿を見ますと恨む氣になれません。看護し乍ら生活の爲に又働く準備をしてます』と書いてあつた。淚なしには讀まれなかつた。寬太郎先生は昨年夏この世を去られた。長男は師範學校に在學中である。長女は女學校に在學中である。二人の子供が人になる迄は石に嚙りついても鐵の如き堅き決心をもつて娘の様な若い先生方の中に交つて働いてる。

淚

佐分利晃

淚……綠衣を震はして
木々は何をさゝやく
日沒の靜かな雪は
明日を夢見る
稱寂と沈思と
冷い思索と……

異說赤穗浪士（189）

桃川若燕

（畫）城木喬

丁字風呂の奧座敷

吉田忠左衛門、富森助右衛門の兩人は更に語をつぎ、

『斯く本懷を達しましたる上からは、一同切腹仕り相果て申す可き儀にございますれど、御膝下の土地と申し且つ又高家御歷々の方々を私に討取りましたる段、公儀に對し恐れ入つたる次第にございますれば、一同亡君の御前に集まり御上の御成敗仰ぎ奉らんがため斯くは參上仕り御訴へ申上げまする次第、委細はこれなる口上書を御覽下されまするやう願はしう存じます』

豫て用意の敵討の趣意書と連判狀を差し出した手に取つた伯耆守はズツと讀んでゐたが

『一味の人數はこれだけであるか？』

『御意にござります、一人も離散仕らず控へ居ります』

『それは神妙である。これより登城して逐一言上する間、ゆる〳〵休息して沙汰を相俟つやう』

『お手厚き御意、有難う存じ奉ります。たゞ一同の者御沙汰如何にと待ち佗びて居りますれば、我々兩人のうち一人だけ泉岳寺までお歸し下さるやう、願ひ上げます――』

『尤もな願ひである。まだ訊ねたき儀もあるが、只今は登城を急ぐ故兩人共、予が退出まで控へ居るやう……オゝコレ〳〵』

『ハツ』

『兩人に湯漬を遣はすやう、手當てを充分に致せよ』

と家來に命じて奥へ入る

さて話しは變つて深川富岡八幡附近の丁字風呂の奧座敷、久し振りで呑んだ酒に、醉ひしれて今宵に迫る大事も忘れ、昔馴染のお菊の艷姿に心惹かれて寢床に入つた小山田庄左衛門、お菊の介抱を受け乍ら眠るともなしに高鼾グーツグーツと寢込んでしまつた。醉後の水欲しさに眠が覺めて四邊りの様子を見廻すと屛風が立て廻してあり枕元には酒の支度までしてある

『ハテナ今は何刻であらう』

傍を見るとお菊も居ない様子、不審に思つた庄左衛門、立ち上つて屛風を取り除け障子を開き、雨戸を繰つて見ると、樹が一面に茂つてゐて遮つてゐるが樹の間を洩るゝ日脚が射し込んだ雪の旦の朝景色に、

『ハテ、夜が明けたのか。それとも日暮れ近くに雪でも止んだのか……』

と漸く我に歸つて、立つたり坐つたり、オド〳〵してゐるところへ朝風呂から歸つて來たか、一段と磨き上げたお菊がニツコと笑を含んで、

『モウお目覺めでございますの』

『菊か、もう夜が明けたのか、但しは日の暮故か……』

『マア本當に旦那のやうに、よくお寢み遊ばす方はございませんわお風呂も、とうから出來て居りますから、お召し遊ばせ』

『フームして見ると、もう夜が明けたのか』

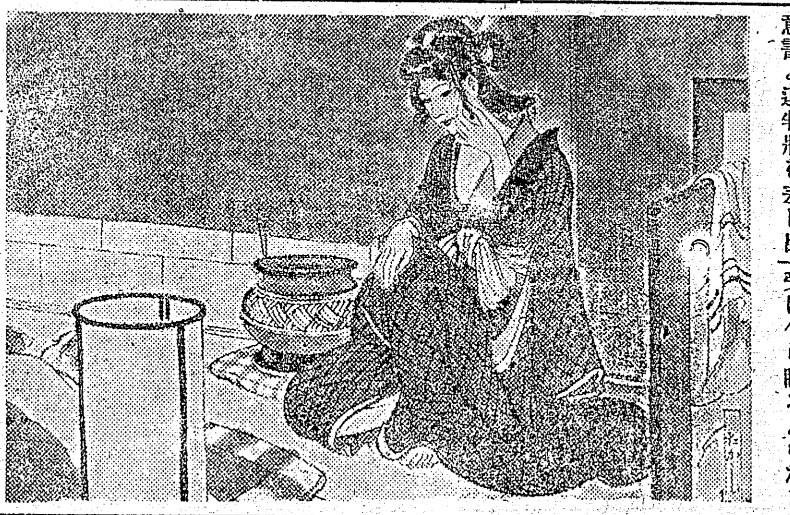
『夜が明けたどころではございませんわ。もう巳刻でございますもの……』

『ナニッ巳刻だと……フーム』

『先程から幾らお起し申しても、お起きにならないのですから……夫れに旦那大變な事が起りましたの、昨夜本所松阪町吉良様へ淺野様御浪人方が大勢押し掛けて行つてお殿様の御無念晴しをなすつたさうでつい先刻此の先の永代橋を渡つて芝の方へ引揚げたさうですわ』

『エーツ、敵討を致したか――』

バツタリ坐り直つた小山田庄左衛門、余りの事に聲も出ず、呆然としてゐる。



肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢
平・大田町電323番

小名濱唯一の味の店
おでん
小料理
御會食御商談に御利用を……
味の店
寶來

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板
ベニヤ板
建具
木羽、建築材
便利瓦一式
織田材木商店
平市電四九〇番
製材工場 磐越東線赤井驛前（大作場）電二三五

△入院隨時▽
エツキス光線科
外科
內臟外科
安齋醫院
院長 安齋徹
平市田町 電五四七

外科
內科
花柳病科
レントゲン科
草野醫院
小名濱町中島
電話一三七番

日本油脂株式會社
特約店
ペイント類、ボイール油
ドライヤー、防錆塗料
船底塗料、屋根塗料
黑板塗料、
一手販賣
（イ）磐城水產工業株式會社
小名濱町築港內 電一四四

內科
外科
小兒科
花柳病科
會田醫院
小名濱町上横町

耳鼻科
咽喉科
▽入院應需△
增田醫院
平市紺屋町
醫學博士 增田[illegible]之
電六五一

產科、婦人科
井坂醫院
平市田町 電五五九
（見習看護婦入用）

故障の起らぬ
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社製品は商工省選定一級品
MD-8號 微電界級 ㊫¥.73.70
ダイナミツク使用眞空管マツダ 12F 47B 57 58
MS-100號 微電界級 ㊫¥.52.60
ラヂオは全部公定價格品です
ラヂオとデンキの店
古山電氣商會
平市二丁目警察署通り（電呼166）

良品選てん廉價販賣
パイロット萬年筆
¥2.00以上
御入學に。御祝に……
進物ケース呈上
平市公園前 角忠 佐々木商店
電話二三三番

口腔外科
齒科一般
森合齒科醫院
院長 森合芳男
植田町 電話七一番

三笠燒
色羊羹
味自慢
風味萬點
平驛前中央通
米屋最中店
モナカ屋がお茶受御土產として始めました、どうぞ最中と同樣御贔負を願ひます

耳鼻、咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院
醫學博士 高柳博明
平驛前 電三三六

巴式風呂釜
設備一式
大谷建材店
平市紺屋町 電三六六

內科
小兒科
物療科
◎入院隨時◎
菅波醫院
四倉町本町（電六三）
院長 菅波茂

內臟外科
整形外科
▽入院隨時△
內木外科醫院
平市大町
醫學博士 內木宗八
電話七[illegible]

諸官省、各會社、一般御家庭御用達
被服の經濟と衞生と技術とに責任を持つ
ドライ・クリーニング店は
最新式の機械完備せる
永山式特許第四七四一號登錄
福島縣衞生試驗所第四八六號公認……
全國洗染クリーニング業界技術指導員任命
あらゆる衣服の整理に物理化學を應用
專門業者用最高級新洗濟を應用
……常に先端を行く――
關西洗染協會顧問 永山眞彥
永山洗染舖
平市大町電（呼）三六〇
サボネツクス。トリクロールエチレン
大阪酸素水素株式會社專門業者用新洗濟
東北業界共販代理

春のヤマカのお知せ＝
チャツク付――勤勞シャツ
若い人の――ワイシャツ
本絹の――ネクタイ
國產の――中折帽
澤山取揃へました
平・二丁目
ヤマカ
TEL 905

高級林檎酒
ミユキ
釀造元 青森縣弘前市 株式會社 御幸商會
福島茨城販賣元
石井德重商店
久ノ濱町 電話三二番

健康增進强調週間
體力を創れ
オリンピア映画第二部
美の祭典
スチル展開催
期間 五月二日ヨリ七日マデ
封切 五月八日ヨリ平東寶映畫劇場
晴雨兼用傘陳列
初夏の帽子陳列
初夏のネクタイ陳列
初夏のワイシャツ陳列
兵隊さんへ慰問品を送りませう
慰問品賣場開設
出來上り慰問袋 一圓半、二圓、三圓
平市
大黑屋

本社慰問班第一日
無聊の勇士爆笑
萬年筆修理は百卅本の盛況

本社の白衣勇士慰問班中島湖洲、岡時保兩君は五日平驛發病院慰問行脚につき、第一日は宮城縣内山下分院、仙台本院、分院と三ヶ所慰問の豫定が、山下分院で豫想外に時を過し仙台へ着したのが午後七時、仙台病院は第二日目に繰延べた、山下分院では中島湖洲君得意の演藝で勇士を爆笑させ、無料奉仕の萬年筆修理は申込み殺到岡付を面喰はせる盛況ぶりで無聊に苦しむ勇士連を心ゆくまで慰めた

目頭も熱くなる
勇士の喜ぶ顏
岡時保君第一報

一時十五分山下療養所へ着きました、乗物にまごついて豫定時間より後れてしまひました。すでに講堂に集ふ白衣の勇士は我等を心からむかへてくれました。中島さんは一時三十分拍手に迎へられて壇上に立ちました、前後約一時間笑ひどうしで不自由の身を癒さうとする勇士のオヘソは何處へ……二時半頃より愈々僕の腕を從横無盡に振ふ時は來た、始めは十か二十位と思つたが診療を開始する頃はすでに兩手に萬年筆を持つた白衣の勇士は無慮五十人位、尚續々とつめかける一時間の豫定が二時間三十五分の長きに亘り心ゆくまで慰問診療した萬年筆は其の數百三十本サヤ、ペン先無料進呈の大奉公故喜ぶ勇士の顏、其の顏をおがむ時涙が浮ぶではないか、目頭が熱くなる。仙台へ午後七時につきました。今晩は手塚さんの所に二人で一泊します。

慰問班に賛意

材木町隣組
本社へ二圓寄託

平市材木町第一組第三隣組では三日夜常會を開き、本社の『白衣勇士』慰問に協力することを申合せ隣組として金二圓也寄託した

一の井
女給さんも寄託

平市三田小路一の井女給さん理都子、富子さんの二人は本社の『白衣勇士慰問』計畫に賛意を表し七日慰問費へ三圓本社へ寄託した

勇士の遺烈顯彰
遺兒を健全に保護育成する
平市で調査に着手

平市では戰沒軍人軍屬遺兒の保育教養に遺漏なきを期するため該當遺兒調べを市内各區長に依頼した

この遺兒調査は適當な保護者がないものに對しこれに變つて市役所が保護指導を加へ〝興亞の寶〟として心身共に健全な發達を遂げよく勇士の遺烈を失はせざる樣保育教養するものである

なほ調査要項は次の通り——△教育見込者住所氏名及男女別△未就學の者にあつては乳幼兒の別△就學中の者のときは國民學校初等科高等科の別並に學年別△何人に委託を適當とするやに關し意見を具申すること△新要經費の一部負擔可能なる者

御親閲に輝く
光榮の青訓石城代表

青訓實施十五周年記念式典は二十二日午前十時宮城前廣場に於て畏くも　聖上陛下御親臨の下に嚴かに執行されるが、この光榮に浴する石城郡下の青訓代表は次の如く決定した（平市關係既報）

◇石城郡代表◇

泉研上遠野茂、渡邊同高木善左、植田本高木正伯、同研大平幸男、菊田實業本鳴邦夫、山田研秋山芳夫、錦同鷺喜市、勿來實業同齋藤孝幸、上遠野同荒川與志雄、同同石森幸一、入遠野同鈴木欽一、川部同武田貞治、田人同齋藤末吉、飯野本鈴木寶雄、夏井研水竹一彦、高久本箱崎清豊間研鈴木盈雄、江名實業同新妻忠義・鹿島同箱崎弘、小名濱實業同藁谷勝男、同本庄司林太郎、玉川佐藤吉枝、磐崎同吉田泰造、磐崎藤原同大田原一己、湯本實業研高原康明、内郷本渡邊忠、内郷鑛業研高萩邦男、好間一同中山茂二同吉田富三郎、赤井一本齋藤西松、同二研鈴木仁司、箕輪一本高野繁雄、同二研阿部正美、永戸渡戸同荻野一博、同合戸同荻野子之松、永戸永井研石井常治、澤渡本佐藤一郎、三阪上三坂研永山俊吉、中三阪本折内幹雄、同下三阪研永山次男、三阪差塩本草野武久、神谷同西部國雄、草野研新妻榮、大浦同鈴木久夫、四倉商業水産同白土初與、同本鈴木隆、大野研植田英雄、上小川小川同久田孝翁、川前同柴崎德重、同柳賓本松本嘉久

◇石城女子部◇

泉本佐藤とみ、菊多實踐本木内明子、勿來實踐研舟生こと、上遠野村同櫛田かね子、飯野裁縫同太田まち子、江名實業同太きい、小名濱成章研丹ちえ子、湯本本佐々木梅子、内郷家政研小松孝、赤井一本柏原ちよ、大浦研鈴木もつい、四倉實踐本外山雅、大野研白土きよ

柔道試合
參加百餘の盛況

昨報、四倉署の演武場の疊敷込披露柔道大會は六日午後三時より開き參加者百餘名に上り盛會を極めた、試合結果左の如し

△一般試合、一等南弘（仲町）二等、佐藤捨雄（セメント）三等折笠巡査

△高點試合、一等折笠巡査、二等星巡査三等南弘、四等佐藤信雄（署）、五等馬目（仲町）

文章を平易にする
口語化運動起す
平市連絡會議が先づ實行

◇…『高度國防國家』『八紘一宇』『新體制』…これは新時代が生んだ熟語だが果してこれが一般大衆層に充分の理解があるだらうか、なかにはまた隣組の眞の目標、理想すら捉へ得ず盲目的に隣組々々…と語つてゐるものもある

◇…この六ケ敷しい熟語が回覽板に平氣で書れてゐる、これは縣から來た公文書がその儘市役所、區内會、隣組と丸呑みで下達され猫も杓子も「高度國防國家」「八紘一宇」…で通つてゐる

◇…平市役所連絡員會議は五日午後一時より市會議事堂に開かれたが同會議でも「六ケ敷しい熟語」が俎上に上つた

◇…市役所としては從來の慣習から今後急激に口語體化することは〝六ケ敷い〟ので出來得るだけ簡易化に努め冗漫にならぬ程度までは公文書體と口語體との中間を行くことに一決今後の口語體使用については充分考慮に入れることを申合せた

◇…偖て市役所は口語體の使用を充分考慮することに成つたが一方區内會、隣組への希望は大體次の樣で殊更に六ケ敷い熟語は御法度とある、

市役所からの公文書は用紙、勞力の關係から出來得るだけは口語風にするが又努めて簡潔にするため區内會、並に隣組にあつても時間、勞力の宥す範圍内で回覽板は判りやすくすること

平の今昔
（十三）
お線香灯して風雅な茶屋遊び
玉代は一本十二錢五厘也

話は別だが今から二十余年前頃品澤から出て居たふみ子と言ふ藝妓が某大臣の愛妾となり、當時の姐さん達を羨望させたと言ふ話が傳はつて居るが、あくさんの話では本當か嘘か、某大臣とは誰だか全然わからないと言ふ。こんなのが判つたら平藝妓の出世頭として大いに書き立てたいのだが、殘念乍ら判明しない。

さて當時二十人から居た藝妓の多くは土地の者が多く江戸仕込みと言つてはあくさんと前後して同じく東京からやつて來た小竹さんと言ふ妓だけだつたので、掃溜に鶴つて譯でもないだらうが、小勝さん、小竹さんと引つ張り凧の寶つ妓だつたさうだ。

小竹さんはあくさんより二ツ三ツ年上だつたと言ふから恰度十八九、吉原で藝妓をして居て家族と共に平に來たものらしく父親と言ふのが今の一丁目十錢瀬戸物屋の所で床屋さんを開業して居た。そして小竹さんは自宅からお座敷通ひをして居たと言ふが床屋へお座敷がかゝつて來るなんて一寸面白い話だ。この床屋さんは娘の小竹さんが一年ばかりで東京に歸つて仕舞つた後もやつて居たさうだがその後どうしたか判らない。

その頃の藝妓は寒中でも足袋は履かず髮は島田ばかりで湯本の小藝妓がチョンマゲを結つて居たのが風變りな位で、この頃のモズの巣頭などは夢にも見られなかつた。

町家はまだアンドンの時代でお座敷は百匁ローソクを二本位燭台に立てゝ酒宴を張りしばらく經つてからランプの時代がやつて來た

玉代は線香一本が十二錢五厘卵一ツが天保錢一枚の時代で、今でこそ線香などは立てないが當時は線香を一本ちやんと立て、なくなるとまたつけかへては自分の名を書いたもので姐さん達としては非常に面倒だつたと言ふ

その線香立ては小さな抽出し付きの箱で五つか六つに區ぎられた線香を立てる處に並行して一、二、三と釘樣のものをつけ、早い話輪投げの樣に線香一本毎に藝妓達は自分の番の處に穴あき錢を重ねて行くことになつて居た。

お客さんの目の前だから勿論ゴマかしは出來ないがそれでも深へさす、さゝぬで可成り時間を違つたと言ふ、線香で見るなんてちと古くさいとは誰しも思ふ處だが名香を嗅ぎ乍ら美妓を待べらしての酒宴なんて、風雅なものである。も一度その頃がやつて來てもよさそうだ。

あく姐さんが平へ來た頃は勿論まだ汽車はなく人力車でやつて來たものだが、その頃だつて平はまだ人力車も珍らしい頃であつた。

磐城文協
今夜例會開く

磐城文化協會の例會は今七日午後六時からマルトモホールに開き、過般縣文協發會式に出席した渡邊久、松村亭兩氏の報告を聽き、今後の方針について具體的な協議をする

大麥は豐作
立夏作況發表

縣農試神谷分場の冬作立夏景況は六日發表されたが春分作況以來天候は概して順調だつた爲早生は稍々劣るも大差なく中生、晩生共に良く、草丈は早生、中生、晩生共優れてゐる

△大麥早生草丈二尺二寸四分四厘、莖數九九本△同中生、草丈三尺三寸二分七厘莖數一〇三本△同晩生草丈三尺一寸三分三厘莖數九一、三本これを平年に比較すると草丈は何れも三寸二分余伸長、莖數に於ても早生五本、中生十本晩生七本の增加を見て居り、早生は既に穗揃五日を過ぎ、晩生も穗揃期に入つて居り、冬期には減産を豫想された麥作も豐作確實となつた

鐵工組合
役員改選

平鐵工機械工業組合の總會は十日午前十時からマルトモホールに開き、豫算並に決算を承認、組合長、理事、幹事等役員の改選を行ふ

木炭增産協議
配給の適正も研究

縣主催木炭增産協議會は今七日午前十時より平市會議事堂に開催、縣より農政課農林主事佐治友伊氏、平林産物檢査所長日井江氏並に營林署、各産組關係者が出席本縣十六年度木炭增産計畫の生産目標四千八百萬貫（普通木炭四千四百五十萬貫瓦斯用本炭三百五十萬貫）の責任生産數量增産を主題として生産に關する指導並に配給上の適正を期する協議した

山野跋渉のハイクシーズン來る
平山岳會活動

初夏の薫風を追うて山野を跋渉するハイキングのシーズンを迎へ平山岳會では來る十八日石城、双葉の郡境猫鳴山へ行軍することに決定、引續き毎月一回乃至二回体錬ハイクを行ふ計畫を樹てゝゐる全會の高瀬勝男君が創案した會員バッヂも出來上つたので同好の會員募集を開始した

平山岳會を象徴するバッヂは高山に白雲と溪谷を配し下部へ『TAIRA』とローマ字で綴つた銀いぶしの見事な出來榮え、會員は六十錢のバッヂ代も含んで一ケ年一圓、多數會員の入會を希望されてゐる

【申込所、平市二丁目常陽銀行内平山岳會事務所】

平林産物
檢査所落成

平市正月町に建設中の平林産物檢査所の竣功式は十日午前十時から同所で執行、縣からは高野經濟部長、孕石山林課長が臨席する等である

同檢査所は總工費二萬四千圓、坪數二百三十坪二階建で昨年七月平市及各方面の寄附を受け着工したもので縣へ移譲される

契約更新する
大敷網問題
次期經營上解決が急務

小名濱、江名兩漁業組合が共同地先權を有する大敷定置漁場は現經營者高橋亘氏との契約も本年で滿期解約となる爲昨年來資材入手の都合から十七年度よりの新經營者を選定すべく兩組合は場代金その他契約基本を練つてゐたが、申込者意外に多く小名濱のみでも小野晋平氏を筆頭に高橋忠治、北佐政種、三代義勝、柳内吉助、小野三五兵衛、城十郎諸氏の希望あり、江名町方部でも有力な申込者小名濱を凌ぐものあり、然るに本年も半場を過す今日兩漁業組合並に申込者共杳として音沙汰なく、この成行きは相當興味を惹いてゐる、然し申込者の半數は現經營者高橋亘氏のロボットと見られ、遷延する事は資材入手、手續の關係上現高橋氏に有利となり、又太清左衛門氏が江名町長に納つた關係上江名方部を取纏め小野晋平氏が有利に展開して來た、但し競爭入札で決する場合三代義勝氏が最も有力視されて居り何れにせよこの問題に對して兩組合が急速な運行を爲し次期經營者の爲めに便益を圖るべしとの聲が相當昂まつてゐる

半島人の喧嘩
蹴飛ばして死に至る
加害者は逃走

内郷村高坂磐城炭礦住吉坑々夫半島人高坂九郎（三九）は昨六日午前三時頃泥醉して同村高坂同坑々夫監督半島人伊藤龍夫こと朴長來（三四）宅を訪ね泥醉してゐるため細些のことから喧嘩となり伊藤は高坂の腹部を蹴飛ばし其の場は大したこともなく收つたが同午後一時頃に至つて高坂が腹部の苦痛を訴へるので伊藤は醫者を呼んで來ると稱して逃走、高坂は夜八時頃に至つて腸内出血を起したもの〻如く遂に死亡した、平署では急報により目下逃走中の加害者伊藤の逮捕方を各警察署へ手配した平檢事局からは七日朝中村檢事が安齋醫師を伴ひ現場を檢証死體を解剖に附した

志成らず
投身自殺
新川町の佐藤君

平市新川町生れ元四倉町仲町田村屋タクシー方運轉手佐藤文平君（三三）は去る二十一日双葉郡富岡町の友人渡邊定國（三〇）と共に朝鮮の羅南にゐる友人を訪ねて就職したが佐藤は病弱の爲採用されず羅南を後にして歸國の途中六日午前七時頃新潟入港の日滿連絡船月山丸甲板から日本海に投身自殺をした、原因は一旦志を立て渡鮮しながら病氣のため歸郷せねばならなくなつたのを悲觀してらしい

情報官西原少佐
十二日時局懇談會開く

縣並に平國民職業指導所主催「時局並に中小商工業者等の今後に於ける對策懇談會」は内閣情報局情報官陸軍少佐西原龍夫氏を迎へ十二日午後一時より四時まで平市公會堂日本間に開催するが引續き一時間の豫定で自由懇談會を開くことに成つたなほ一般市民の聽講を歡迎してゐる

◎◎◎◎◎◎◎◎◎

白衣勇士慰問班寄附

△金二圓材木町第一組第三隣組

△三圓、平市三田小路一の井方女給さん理都子、富子　合計五圓

日曹視察
化學工業組合員

日本化學機械製造工業組合員代表一行二十三名は來る二十四日午前九時小名濱町日本水素工業視察の爲め來小する

草野警防團
表彰旗披露する

草野村警防團では十日午前十時より同村校庭で本縣知事より授與された初の表彰旗披露を兼ね樹立式を擧行する

納稅表彰
四倉役場の催し

四倉役場では來る十二日午前十時より十五年度の納稅組合並に優良納稅者の表彰式を擧行する

平局員の增産運動
七畝歩開墾する

平郵便局電信部ではこの程部員三十名が總出動でお城山の荒地約七畝を借受け開墾し馬鈴薯を播種したがこれからは局長さんも鍬を振ふことに成つてゐる

産報事務所
地鎭祭
九日十時擧行

産報平支部では九日午前九時から役員會を開き終つて十時より平署東側に新築する事務所の地鎭祭を現場に執行する

消毒乳劑
市で共同購入

平市では消毒用石油乳劑を共同購入するが希望の衛生區では十一日までに市衛生課へ申込れたいと

松崎兵長
原隊で戰死發表

赤井村出身相田部隊兵長松崎茂君は四月十八日湖北省技縣の戰鬪で戰死した旨原隊から發表された

花嫁學校
定員に滿たず

創立以來三年を迎へた磐城高女の花嫁學校（専攻科）は齋藤校長の新任以來その内容を充實し、學校の使命たる良妻賢母の實を上ぐべく努力してゐるが、現在生徒は卅二名　修業年限一ケ年、裁縫手藝に重點をおきその他實際家庭で役立つ珠算習字等も加へ、また教養を高める點から生花、和歌、琴、常識等の教授もやつてゐるが今年も應募者尠なく定員の四十名に八名不足してゐる

三丁目青年
改組記念の寄附

平市三丁目青年團では改組を記念して六日市助成會へ二十圓を寄附

兒童の赤誠
銃後會へ寄附

平第三國民學校兒童一同は今七日市奉公會へ十一圓五十二錢を寄附

映畫界

聚樂館　◎獨オリンピア映畫「美の祭典」◎寶塚映畫梅香ふみ子、難波章子松井稔主演「女學生と兵隊」◎日本ニュース

平館　◎松竹映畫木暮實千代、坪内美子、德大寺伸「東京の風俗」◎日活映畫嵐寛壽郎、澤村國太郎、市川春代主演「鳥人」◎文化映畫◎日本、海外ニュース

世界館　◎新興映畫黒田記代、美鳩まり主演「母代」◎大都作品津島慶一郎主演「建設一代男」文化映畫・◎日本ニュース

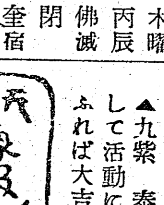
商況
（七日）

【野菜】	高	安
葱	一一	
人參	四五	
葉王葱	二〇	
大根	二五	
ウド	一二〇	
ニラ	一三〇	
筍	一二〇	
サントウ菜		二五
【鮮魚】		
平目	五四、〇	
タイ	一五〇、〇	
タラ	一〇、〇	
ニクモチ	二三、〇	
ノドグロ	一八、〇	
カドイワシ	八、六	
アンコ	八、〇	
身欠ニシン	三、一五	

平市慶弔錄

【婚姻】平市紺屋町十二番地松田一（二九）さんと四倉町字太夫坂一番地熊倉芳枝（二三）さん

【出生】平市三丁目五十一番地小松崎善之助五女和惠さん



木曜　丙辰　佛滅　閉　奎宿

舊四月十三日
新五月八日

▲一白　思はぬ方面より沈滯を來たし遲々進み難し

▲二黑　案ずるより生むが易しと雖手堅くするが吉

▲三碧　我儘の行動は手違びの基なれば些事も注意

▲四綠　小事に油斷して大事をも破る他の妨害あり

▲五黄　平和を主として物事急がざれば吉運に向ふ

▲六白　樂觀は許し難き日感情に馳せぬ樣注意あれ

▲七赤　健實と忍耐を旨とし才力を發揮し大吉たり

▲八白　交友を密にし緊褌一番奮闘するが至極良好

▲九紫　泰然自若として活動に手心を加ふれば大吉

天氣豫報

今晩　南の風後北西の風曇り勝ですが一時小雨模樣

明日　南東の風後北西の風曇り勝ですがだんだん良くなるでせう

滿潮　前一、三五　後二、一〇（八日）

干潮　前八、一五　後八、二〇

漁業用
竹織ロープの出現

漁業用『竹織ロープ』の販賣を開始する事になりました。本品は竹の纎維で製造し長期間海水中にあるも絶對腐蝕せず却て强靭性を增加し强度並に耐久力は『マニラロープ』の數倍にて生産の約七割は陸海軍の御用品として亦各地で盛に使用され當町某船主樣より大量の御注文に接し近く納入する事になつて居ります。是非御用命仰付け下され度御願ひ申します

漁業用竹織ロープ東北地方一手販賣特約店
丹野純一郎商店
小名濱町上横町二四

高級な運命鑑定
觀相家　哲龍子師出張
安心の出來る運命判斷親切丁寧詳細でよく的る代人は寫眞必要、家相に出張
期日　五月二日ヨリ一週間限り　午前八時半から午後六時迄
場所　平市堂の前　欣淨寺内

内科　小兒科　外科　性病科
高久病院
院長　高久忠
副院長　赤羽清
藥局長　佐竹菊雄
看護婦及び女中募集　院長全快診療に從事